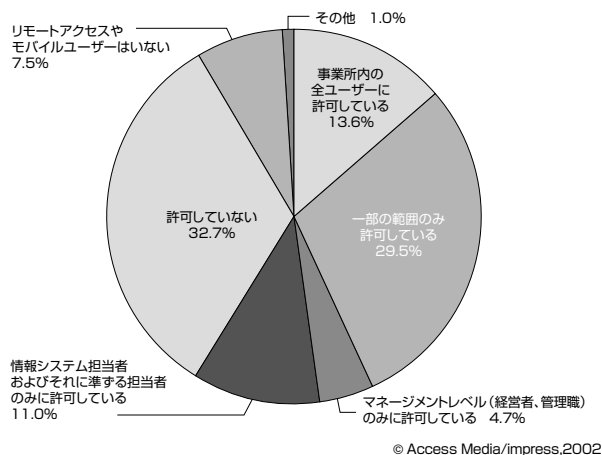
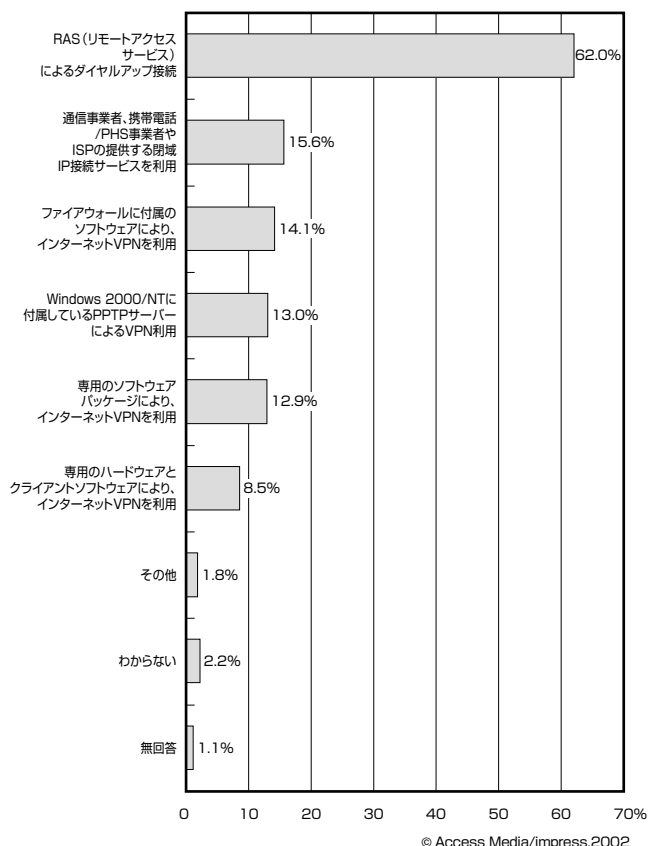


資料 1-4-32 リモートアクセスやモバイルユーザーの社内ネットワーク接続許可 N=1,725



資料 1-4-33 リモートアクセスやモバイルユーザーの社内ネットワーク接続方法 N=1,032



解説

■モバイル/リモートアクセス/VPN

前項のイントラネットの状況でもみたように、中規模、大規模の企業では従業員にモバイルコンピュータからのアクセスを許可しているとみられる。今年は初めてリモートアクセスやモバイルユーザーの実態について深堀してみる。

イントラネットに限らず、社内ネットワークに対して社外からの接続許可をどの程度行っているのか聞いたのが資料1-4-32である。

インターネット利用企業の58.8%が社外から社内ネットワークへの接続を許可

しており、41.2%は許可していないか、必要がない（「リモートアクセスやモバイルユーザーはいない」ということであった。回答者（ネットワーク管理者）管轄事業所の全ユーザーに許可している企業も全体の1割以上である。これは社内ネットワークへの接続許可を行っている企業の22.8%に上る。これを従業員規模別にみると、全体的に500人以上の中、大規模での許可率が高くなっている。さらに「事業所内の全ユーザーに許可している」比率が高いのは5000人以上の大規模である。

その社内ネットワークへのアクセス方法（資料1-4-33）は、「RAS（リモートアクセスサービス）によるダイヤルアップ接続」が62.0%と群を抜いて高く、以下「通信事業者、携帯電話/PHS事業者の提供する閉域IP接続」（15.6%）、「ファイアウォール付属のソフトウェアにより、インターネットVPNを利用」（14.1%）、「Windows2000/NTに付属しているPPTPサーバーによりインターネットVPNを利用」（13.0%）となっている。

（矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社）



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp